

# 会 議 録

平成26年2月28日調製

|       |   |        |   |
|-------|---|--------|---|
| 審議会等名 | 平成 25 年度 第 2 回三条市学校給食運営委員会  |        |   |
| 公開の別  | 全部公開  |        |   |
| 開催日時  | 平成26年2月17日(月) 午後1時55分～午後3時25分   |        |   |
| 開催場所  | 三条市役所 栄庁舎 3階 大会議室   | 傍聴者の有無 | 有 |
| 出席者氏名 | <p>出席委員11名〔委員定数18名〕</p> <p>小林修(三条小校長)                      中瀧志保子(須頃小校長)                      長谷川綾子(井栗小校長)</p> <p>大原貞雄(月岡小校長)                      内藤智子(栄中央小校長)                      中村聡(荒沢小校長)</p> <p>新飯田昌和(上林小 PTA)                      荒井芳子(保内小 PTA)                      藤塚誠一(大浦小 PTA)</p> <p>丸山重美(三中 PTA)</p> <p>捧厚雄(三条市監査委員)</p> <p>事務局</p> <p>長谷川教育長                                      大平教育総務課長                                      田村健康づくり課食育推進室長</p> <p>大谷教育総務課庶務係長</p> <p>星野場長(三条・裏館)                                      青木場長(井栗・嵐南)                                      木村場長(栄)</p> <p>大竹場長(下田)                                      小川栄養教諭(三条)                                      三科栄養職員(井栗)</p> <p>早川栄養職員(嵐南)                                      金子栄養主査(裏館)                                      相田任用職員(裏館)</p> |        |   |
| 報告    | (1)平成25年度(第1・2学期)三条市学校給食調理場給食費会計収入支出状況について  |        |   |
| 議題    | <p>(1)三条市学校給食の概要と平成26年度の運営について</p> <p>(2)平成 26 年度三条市学校給食調理場給食費会計収入支出予算案の承認について</p>  |        |   |
| その他   | <p>(1)井栗学校給食共同調理場の民間委託について</p> <p>(2)学校等給食用食材の放射性物質検査測定結果について</p> <p>(3)学校給食残量調査結果概要について</p>  |        |   |
| 発言内容等 | <p>事務局</p> <p>これより、第 2 回学校給食運営委員会を開会します。<br/>委員定数18名のうち11名出席、三条市学校給食運営委員会規則第6条の規定により会議は成立します。<br/>会長からあいさつをお願いします。</p> <p>小林会長</p> <p>三条市では先週あたりよりインフルエンザが流行し学級閉鎖が起きています。<br/>給食に関わる職員は、現在、大変な状況だと考えます。今年度も残りわずかなので、ぜひ頑張っていたきたいと思います。<br/>1・2 学期を中心に学校給食の収支状況の報告があります。忌憚のない意見を皆さんから頂戴したいと思います。より三条市の給食が良い方向に向かいますように願っています。</p> <p>事務局</p> <p>続きまして、教育長からあいさつをお願いします。</p> <p>長谷川教育長</p> <p>三条市の学校はインフルエンザの流行があり、学年・学級閉鎖が続いています。学校給食においては、感染性胃腸炎等が全く流行っておらず大変ありがたく思っています。</p>  |        |   |

|               |  |
|---------------|--|
| 長谷川教育長        | <p>この運営委員会は、学校給食の適正な運営に関する事項について審議していただく場であり<br/>ます。忌憚のない意見を聞かせていただきたく思います。</p> <p>三条市は学校給食を教育の中の食育ととらえています。職員一同よりよい給食を子ども達に提<br/>供したいと考えています。</p> <p>平成 26 年度より三条調理場が閉場になり、代わって自校方式による一中一体校の調理場が<br/>稼働します。そのため、各調理場の受配校も変化します。</p> <p>また、消費税増税に伴い学校給食にも影響が予想されます。そのような中、今回は平成 25 年<br/>度 1・2 学期の収支状況の報告、平成 26 年度予算案について審議していただき、また、井栗調理<br/>場の調理業務委託、放射能検査の検査結果などの報告を予定しています。</p> <p>三条市として、引き続いて子ども達によりよい給食を提供していきたいと思ひます。出席の皆様<br/>に忌憚のない意見を頂戴したいのでよろしくお祈ひします。</p> |
| 事務局           | <p>議事進行を会長と交代します。</p> <p><b>平成 25 年度（第 1・2 学期）三条市学校給食調理場給食費会計収入支出状況について</b></p>  |
| 小林会長          | <p>4の報告「(1)平成25年度(第1・2学期)三条市学校給食調理場給食費会計収入支出状況に<br/>ついて」を報告します。決算の認定は、3学期が終了し、新年度に入ってからお祈ひします。</p>   |
| 星野場長          | <p>(平成25年度(第1・2学期)三条市学校給食調理場給食費会計収入支出状況の説明、及び未<br/>納状況について説明)</p>  |
| 小林会長<br>捧監査委員 | <p>次に、会計監査報告をお祈ひします。<br/>(監査報告)</p>  |
| 小林会長          | <p>質問をお祈ひします。</p>  |
| 小林会長          | <p>発言がないようですので[報告]を終了します。</p> <p><b>三条市の学校給食の概要と平成 26 年度の運営について</b></p>  |
| 小林会長          | <p>5の議題「(1)三条市学校給食の概要と平成26年度の運営について」と「(2)平成26年度三<br/>条市学校給食調理場給食費会計収入支出予算案について」を議題とします。まず、説明をお祈ひ<br/>します。</p>  |
| 田村室長          | <p>(平成26年度給食費の値上げは行わず、冬場(12月から3月)の牛乳を試行的に中止し、その<br/>間、不足栄養素を補うため魚・肉を少し大きくし、ご飯を 10g増加し、手作りふりかけの回数を増や<br/>し、豆腐・油揚げを増量して給食提供を行います。</p> <p>完全米飯給食という中で、牛乳は合わないと考えます。市として、給食は、子ども達が望ましい<br/>食の習慣と知識を身に付けるため、更に生涯をゆたかに生きていくために米飯給食を実施してい<br/>ると説明。)</p>  |
| 青木場長          | <p>(平成26年度三条市学校給食調理場給食費会計収入支出予算案について説明)</p>  |
| 小林会長          | <p>質問をお祈ひします。</p>  |
| 長谷川副会長        | <p>平成26年度 of 取組みで冬場の牛乳飲用停止の話がありました。牛乳の役目はカルシウムを<br/>摂るためと理解しています。子どもは、コップ2杯くらいが望ましいと聞いています。</p> <p>牛乳停止にするとカルシウムはどのように摂取していくのか教えてほしいです。</p>  |
| 小林会長<br>中村委員  | <p>このことについて、関連した質問がありませんでしょうか。</p> <p>日本の伝統的な和食に牛乳が存在しないという一文があるがこの言葉の根拠について、もっと<br/>細かな理由を聞かせてほしいです。</p>  |
| 丸山委員<br>田村室長  | <p>冬場の牛乳の残る率はどのくらいなのですか。</p> <p>カルシウムと残量についてお答えします。</p>  |
|               | <p>カルシウムは牛乳にばかり含まれている訳ではありません。大豆製品、小魚、海藻、緑の野菜<br/>にもたくさん含まれています。家庭でのカルシウム摂取について啓発していく必要があると考<br/>えています。</p> <p>残食については、冬場に特に増えるということではないですが、冷たい飲み物は、夏場よりは<br/>若干残りやすいと考えます。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 大平課長  | <p>三条市の完全米飯給食をまた更により給食を目指そうという考えです。</p> <p>手元の資料に給食の写真が載っていますが、ご飯、汁物、魚、和え物の中に牛乳がついています。ここに違和感があります。和食という定義の中で牛乳という飲み物はごはんには合わないと考えます。</p> <p>振り返ると、食卓にごはんがのってそこに牛乳をだす家庭はありません。嗜好の問題ではありますが「望ましい食の習慣と知識を身に付けおいしく食べること。ゆたかに生きること。」が、目指す方向にあるのでそこに一步踏み込むために冬場の若干残量が増える牛乳を試行的に停止したいと考えます。</p>  |
| 小林会長  | 他に質問はありませんか。   |
| 新飯田委員 | <p>牛乳の飲用停止期間については良いと思うが、栄養面で手作りふりかけの回数が増えます。このふりかけは子どもの体を考えて素材にこだわった無添加のもので塩分も考えてほしいと思います。</p> <p>消費税増税でも来年度の給食費は上げないことになったが、給食のお楽しみを削ってまで給食費の上げをしないのはどうかと考えます。</p> <p>お楽しみの部分は季節感を給食に持たせ子どもにとって大切な部分、その部分を削るならばやっぱり給食費の上げをしていただきたいと思います。</p> <p>給食費は、未納が毎年でている状況、未納問題を今後どうしていくのか、また、消費税 10%の引き上げがすぐやってくること、この先、食材の高騰が予測できます。そのようなことで、給食費の状況が苦しくなると思います。そうであれば、ちょこちょこ引き上げず、一気に上げを行ってほしい。家庭に係わるお金の項目で給食費だけが現状維持している。きちんと値上げした方がよいと考えます。</p> |
| 田村室長  | <p>手作りふりかけは三条の給食の中で自慢のメニューです。化学調味料は一切使わず、鰹節、ごまなどの食材とほんの少しの塩で作っています。</p> <p>子ども達には、ご飯の上を全部覆い尽くす量ではなく、ほんの少しかかる程度を提供しています。これからも子ども達にしっかりしたものを提供し続けていきたいと思っています。</p>   |
| 大原委員  | 来年度はお楽しみ部分はそのまま維持して、牛乳の冬季期間停止ということでしょうか。   |
| 田村室長  | 4月から11月までは今までどおりの給食提供です。12月から牛乳を停止し、魚・肉を少し大きくし、ご飯を10g増加し、手作りふりかけの回数を増やし、豆腐・油揚げを増量して給食提供を行います。  |
| 小林校長  | せっかくの機会ですので、いろんな意見があつてよいのですから、この他に意見がありましたらお願いいたします。給食に対しての意見でもなんでもいいです。   |
| 新飯田委員 | 和食に牛乳が合わないのであれば、お茶にするのはどうですか。  |
| 田村室長  | <p>お茶もとてもよいものですが、毎日の給食にはみそ汁がつかます。飲み物をつけなくても最後まで食べられる献立になっています。</p> <p>普段の生活でご飯を食べながら、みそ汁は飲むが、ご飯を食べながらお茶を飲むことはあまりないです。食事の最後にお茶を飲むことはあるが、お茶を給食につけることはしなくてもよいかと思ひます。</p>  |
| 中村委員  | <p>長年、給食に牛乳はついていました、市として和食という形を目指していくため、冬季期間試行的に牛乳の飲用を停止するという考えは理解できました。また、市として家庭での牛乳飲用の啓発を行うということも理解しました。</p> <p>できれば、学校単位で今回の話しを保護者へしていくのではなく、市として市の目指す方向を年度のはじめに親御さんへきちんと説明してほしいです。</p>   |
| 大原委員  | <p>牛乳を冬場とめるということは、賛成です。子どもの様子を見ると、冷たいものをお腹にいれると身が冷えるのか食欲が落ちているように感じます。</p> <p>その分で、消費税や食材の値上げ分を消化できるのであれば給食費を値上げしなくてもよいのかと思ひ賛成です。</p>  |

|                      |   |
|----------------------|---|
| <p>大原委員</p>          | <p>ただ、心配されるのは、冬場のご飯が増えて食べるのかなということと、ふりかけが今まで月2回を週2回に増やすと、週5回のうち3回が白ご飯で2回にふりかけが付くということで、ご飯本来の味ではなくふりかけに依存してしまうのかなと思うとそこまで増やす必要があるのかなと考えます。</p> <p>デザートについては、先日チョコのデザートがついたが子ども達にとっても不評でした。とても甘いものでした。デザートの乳製品を増やすこともよいが、できれば、砂糖味に慣れてしまう給食にならないでほしいです。</p> <p>消費税があがること、食材も円安などで高騰していると思うので、給食費は消費税と食材のことを考えて引き上げるのならば引き上げた方がよいと考えます。</p>   |
| <p>大平課長</p>          | <p>保護者単位の説明会についてはこの先、どのような形になるかは言えないが、順次行っていきたいと考えています。</p> <p>各学校には、校長会を通して伝えていきます。</p> <p>平成27年10月は消費税10%になるのではという状況を見据えながら、三条市の学校給食の目指すべき方向をどうするか、三条市の子ども達にとって三条市の学校給食はどうあるべきかをセットで考えながら進めていきます。</p> <p>また、給食で牛乳を廃止すると今までのカルシウムの栄養摂取基準を補てんできるのか疑問な部分もあります。それも含めあるべき学校給食の姿、あるべき給食費について検討したいと思います。</p>   |
| <p>丸山委員</p>          | <p>増税分で給食費が苦しくなるなら、しっかり上げて説明してもらえればよい。家庭にとって、子どもが給食のお楽しみ部分をすごく楽しみにしていると感じます。だから、お楽しみ部分は削ってほしくないです。</p> <p>また、家ではほとんど納豆を食べません、でも給食の「五菜和え」が納豆、ひじき、野菜が入ってとてもおいしいと教えてくれます。</p> <p>給食は、地産地消を取り入れて新鮮な野菜を使用していると子どもの話しや給食だよりから知っています。本当に給食はありがたいと感じます。</p>   |
| <p>大原委員</p>          | <p>監査委員として、塩、砂糖、みそなど非常にこだわっていることを知りました。塩は山北の塩を使っていて、みそは地元のちゃんとしたものを使用しています。</p> <p>また、米も地元産コシヒカリの特別栽培米と一定期間有機栽培米を取り入れています。</p> <p>非常にこだわりの給食になっているので、是非、この部分のレベルを下げないで維持していくために、給食費の値上げを行っても理解は得られると考えます。</p>   |
| <p>中瀧委員</p>          | <p>ご飯を上手に飲み込むことができない子どもが増えてきています。市としても啓発していったほうがいいです。</p>   |
| <p>田村室長</p>          | <p>学校と保育所の子ども達へ食育推進室として囁むことの大切さを伝えていきたいと思います。</p>   |
| <p>小林会長</p>          | <p>他に質問はありませんか。</p> <p>ご質疑がないようですので、5の議題「(1)三条市学校給食の概要と平成26年度の運営について」と「(2)平成26年度三条市学校給食調理場給食費会計収入支出予算案について」を拍手で賛同願います。<br/>(拍手で賛同)</p> <p><b>その他</b></p> <p><b>(1) 井栗学校給食共同調理場の民間委託について</b></p>   |
| <p>小林会長<br/>青木場長</p> | <p>では、6のその他(1)井栗学校給食共同調理場の民間委託についての説明をお願いします。</p> <p>井栗学校給食共同調理場の民間委託は、公募型プロポーザル方式による選考の結果、評価基準総合点が最も高かった㈱オーシャンシステムを選定。平成26年4月1日から平成31年3月31日まで5年間の委託期間です。</p> <p>献立作成や食材発注、調理の確認は学校栄養職員が今までどおり行い、給食調理及びそれに付随する食材の検収、配缶、配送準備、食器・機械器具の洗浄などを委託業務内容に盛り込みました。</p> <p>食育の推進を基本とする学校給食の目標・目的は民間委託になっても変わりません。</p> <p>また、受配校(小学校3校、中学校1校)の保護者を対象に説明会を開催し、民間委託について保護者の皆様にご理解とご協力をお願いしています。</p> |

|       |   |
|-------|---|
| 小林会長  | 質問をお願いします。  |
| 新飯田委員 | 三条市の民間委託の状況について教えてください。   |
| 青木場長  | 昨年は、嵐南調理場が民間委託となりました。今後、今年の井栗調理場、来年は栄調理場、再来年は下田調理場と続いています。  |
| 新飯田委員 | 市の調理場はすべて民間委託になりますか。  |
| 青木場長  | 今現在、下田調理場の民間委託まで決まっています。  |
| 小林会長  | 他に質問はありますか。発言がないようですので [その他 (1) ] を終了します。   |
|       | <b>(2) 学校等給食用食材の放射性物質検査測定結果について</b>   |
| 小林会長  | その他(2)学校等給食用食材の放射性物質検査測定結果についての説明をお願いします。   |
| 大谷係長  | 平成 25 年度は 29 品目の三条産農産物を検査した結果、放射性物質は検出されませんでした。<br>来年度も引き続き給食食材の三条産農産物を検査します。   |
| 小林会長  | 質問をお願いします。  |
| 小林会長  | 発言がないようですので[その他(2)]を終了します。  |
|       | <b>(3) 学校給食残量調査結果概要について</b>   |
| 小林会長  | その他(3)学校給食残量調査結果概要についての説明をお願いします。   |
| 田村室長  | 給食の残食率を5%以内が許容範囲となっており小学校は達成できたが、中学校は8%と上回りました。今後は、学校におけるこれまでの取組みを継続するとともに、家庭への働きかけを強化していきます。   |
| 小林会長  | 質問をお願いします。  |
| 新飯田委員 | 中学校の残食率が目標より下回ったのだが、子どもの話を聞くと給食時間が 15 分と短いことも原因なのかなと感じます。<br>また、普段の食事がとてもはやく食べるようになって、学校の食事時間が少ないことでそうなのではと感じます。  |
| 田村室長  | 中学校の給食時間が少ないと常々感じます。そのため、食育推進室としても少しでも長くなるように働きかけを行っていきたいと思います。<br>また、よい食習慣をつけてほしいと願う給食が、時間が短くなることでかえって悪い習慣になってしまわないようにしたいと思います。  |
| 内藤委員  | 残量が少し多いことは気にはなっているが、元来、食の細い子どもに無理に食べてもらうのはどうかという意見もあります。  |
| 長谷川委員 | 残量調査は学校としても取り組んでいる。学年や体格によって子どもの食べる量は様々です。ゼロをめざして取り組んでいる中で、あまり食べてほしくない子どももいます。肥満との戦いです。<br>そういった中で、残量ばかりではなくバランスよく食べること、偏食をなくすことも大切だと感じます。<br>このあたりのことを配慮していただけたらと感じます。 |
| 小林会長  | 他に質問はありませんか、発言がないようですので[その他(3)]を終了します。  |
| 小林会長  | 先ほど「五菜和え」の話がありましたが、「きりざい」といって漬物と納豆と野菜を混ぜた献立もたまに登場します。そんな献立についてなど感想でもよいです何かお話しはありませんか。   |

|        |   |
|--------|---|
| 丸山委員   | 先日、その納豆がでる献立の日に通知が来て、献立内容が変更になり納豆が提供されませんでした。子どもと調理士さんがひとりお休みで献立変更を行うのは、人手不足なのかな。と心配していました。ひとりでもお休みがでると献立変更をするのですか。   |
| 星野場長   | 調理員ぎりぎり給食を提供しているのではなく、今、盛んに言われているノロウィルスの疑いがある調理員がでたためです。措置として、検便検査の結果が出るまで県の指導に従いより加熱を行い提供できるメニュー変更を行いました。  |
| 藤塚委員   | 家ではあまり食べないが給食はたくさん食べているようで、給食はととてもありがたいと感じます。   |
| 荒井委員   | 子どもからこんな給食があった、おいしかったと話を聞くと、自分も作ってみたいくなるのでホームページやおたよりを調べたりしています。  |
| 小林会長   | 以上で第2回運営委員会の議長を退任します。   |
| 事務局    | 閉会のあいさつを副会長にお願いします。   |
| 長谷川副会長 | <p>本日は、活発な意見交換ができて感謝します。</p> <p>子どもが登校すると、今日の献立は何だろうと献立を見て楽しみにしている様子が伺えます。その中で、夏休みになると心配な子どもや朝、パン1枚だけもしくは何も食べないでくる子どもがいます。そういった子どもは、栄養の不足分を給食で補っている。いかに給食に頼っているかと実感します。</p> <p>NHK 朝ドラのごちそうさんの中で、食べることは生きる楽しみ、生きがい、生命の源だと感じる人が多いです。今さらながら、食べることの大切さを感じます。</p> <p>給食が学校にとってとても大切な存在です。毎日作ってくれる調理場のみなさんにごちそうさんという感謝の言葉とともに、いろいろ来年度から新たな取組みを考えてくださり、今後とも学校の中で大切なものだという誇りを持って努力していただきたいと思います。</p> |
| 事務局    | <p>以上をもちまして本日の平成25年度第2回運営委員会を終了します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>  |